



沖縄キリスト教短期大学報

第36号

沖縄キリスト教短期大学

沖縄県西原町字翁長777

電話 (098) 946-1240

FAX (098) 946-1241

編集
発行

事務局企画課



主な内容:

△理事長就任挨拶 北嘉國郎

△新入生を歓迎することば 原喜美

△身体に障害を持つ学生の受け入れ 前里光盛

△学生生活について 伊志嶺博志

△コミュニティ・サービス・プログラム 神里博武

△有意義だった同時通訳者養成基礎講座 山里恵子

△ミシガン州立大学研修報告 神山美代子・山里恵子

△1992年度キャンパス・ニュース

理事長就任にあたつて



第七代理事長
比嘉國郎

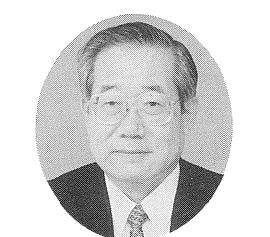
私が沖縄キリスト教学院の理事

に迎えられたのは、首里キャンパスから西原キャンパスへの移転準備の最中で多忙な時期であります。大城実理事長から本学院の理事就任の要請があり、私は、喜んでお手伝いさせていただきますと即答しました。それには次のようない理由がありました。父比嘉善雄（故人）が沖縄キリスト教短期大学の創設に関わっており、父から本短大の話しを聞かされ、また、君達も機会があつたら支援してくれとも言われた事が脳裏に焼きついていたからであります。側面的な支援をするのが私の純粋な気持でありました。

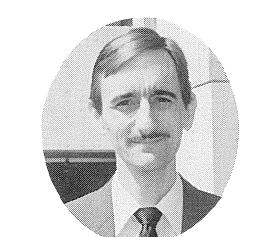
▼一九九三年四月就任

新任教員紹介

▼一九九三年十月就任



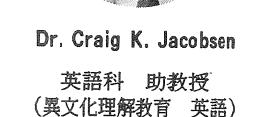
石田穰一
保育科 教授
(憲法 保育特講)



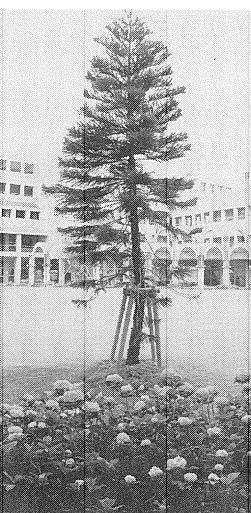
神山繁實
総合教育系 教授
(キリスト教学 英語聖書講読)



Michelle M. Tsujino
英語科 講師
(英語)



Dr. Craig K. Jacobsen
英語科 助教授
(異文化理解教育 英語)



豊見城中央病院長
比嘉國郎(ひがくにお)

しかし、理事長などとゆめゆめ考へてもみなかつただけに驚きと戸惑いを覚えております。学校経営の経験もない私が果たして皆様の期待に応え得ることが出来るか正直なところ不安であります。が、锐意努力して二十一世紀の学生がよりよい学園建設のため全教職員の英知を結集し、多くの方々が一層本学を支えて下さるようご支援、ご協力をお願い申し上げます。

一九八七年本学理事に就任。
一九九三年一月大城実氏の理事長辞任に伴い、第七代理事長として就任した。尚、前理事長大城実氏は一九九三年四月英語科へ復職した。

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子
保育科長	武健治
総合教育主任	大城宜間朝
英語科長	高橋和也
保育科長	大城宜間朝
総合教育主任	大城宜間朝

新任教員紹介

任期 1993年4月～
1996年3月

宗教部長	金城重明
教務部長	前里光盛
学生部長	伊志嶺博志
図書館長	漢那憲治
英語科長	山里恵子

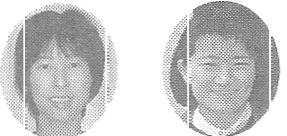
外国人留学生



葉 儀 涓(台湾) 林 雅 雪(台湾)
ヨウ ギケン リン ガセツ
(英語科2年) (英語科1年)



林 雅齡(台湾) 鄭 好嬉(台湾)
リン ガレイ テイ コウゼン
(保育科2年) (保育科2年)



崔 永 蘭(韓国) 饒平名 シルビア
チェ ヨンラン ミリアム(アルゼンチン)
(保育科 2年) (英語科 2年)



楊 明 慧(中国)
ヨウ メイケイ
(英語科 1年)

学生生活じつじて

學生部長 伊志嶺博志

学生の本分は学問をする「こと」であるということは言を俟たない。しかし現代の学校組織を通しての学問には、多くの付隨的行動が伴う。財政であり、友情であり、趣味であり、スポーツであり、将来の進路決定等にである。これらの学間に伴う付隨的な行動が、また学生生活の重要な部分を占めており、その調和的、漸進的遂行なくして幸福且つ完全な学生生活はあり得ない。今これを広く「福利厚生」と言いかえれば、福利厚生の充実が学生生活及び学園生活の大きな要素をなすということができる。

眞の教育者とは、この教頭先生のような人かと思つた。この複雑な世の中で心の成長にゆがみが来るのはむしろ当然、という理解のもとに、無限の可能性がある若者たちの異常行動の背後にある訴えを素直に受容したいものである。」これこそ正に教育の原点、自己変革のすばらしさを示した感動的な経験であります。私達はこの大透明な時代に生き、苦悩に満ちた世界を、自分の為にも他の人々の為にも、喜びと希望に溢れたものに変えていく事が切に求められています。これは恐らく三十六年前戦後の荒廃した中から、本学の創立者仲里朝章先生が聖書の教えに基づいて、青年に夢と希望を与えようと、私財を投げ打つて、二十四名の学生と共に、本学を設立された時の精神と相通するものがあると存じます。

る人たるののために働いていたのことを語りながら彼は涙を流して泣いた。私も泣いた。この年で泣ける

の「学習」が可能になります。出来る限りの努力を傾けて居ります。

バイザー・システム、実習における経験、出会い、学生会活動、宗教活動、文化活動、図書館における自己学習のみならず、本学と地域社会との交流、国際社会との交流の為に海外への留学、海外からの留学生の受け入れ、ミシガン州立大学、ハワイ・コミニティ・カレッジにおける海外研修、同時通訳者養成基礎講座の開設等々、学習形態の多様化を通して、自己改革の可能性が起るよう魅力あるプログラムを計画して居ります。どうぞ皆さんキラキラと輝く毎日を、互いに助け合って友情を培い楽しく、そして真心をつくして過して下さい。そうすることにより、相手の立場を尊重し、更に人間らしく生きる道が発見できる」とと思ひます。

これをもって新入生の皆さんに對する式辭といたします。」静聴ありがとうございました。

本学では障害をもつ学生を積極的に受け入れている。一九八八年に推薦入試制度を始めて以来、障害者のための特別枠を設けてきた。この制度により、一九九二年度には視覚障害者の学生一名、車椅子を必要とする学生二名、その他

軽度の障害をもつ学年数名が入学した。一九九三年度は、視覚障害者一名、車椅子の学生一名が入学している。

障害者の学習を可能ならしめるために本学としては、環境のノーマライゼイションに努力している。

(一) 本学の建物には、車椅子用のエレベーター、トイレ、スロープや点字ブロック等が設置されている。

(二) 視覚障害者のテキスト点訳のためのソフトウェアやニンビニア、音声装置等のハードウエアについて、日本IBMから金品的な支援を得た。また、最新の欧文用盲書読書機の導入資金は全額

（四）障害をもつ学生の効果的学習のためのガイドラインを作成した。
障害者の受け入れにとって重要なことは設備・備品等のハードウェアよりも、むしろ学生・教員・事務職員等の協力体制である。昨年より五十名以上の学生が宗教部職員を中心としたボランティア・グループを組織し、点訳作業に従事している。車椅子の学生の手助け・トイレの介助等にも学生達が力を貸している風景が見られる。教材やテストの点訳に忙しい教授陣。
障害を克服してひたむきに学ぶ姿は、人間の図り知れない可能性を改めて感じさせ、大学全体を活性化して、ボランティア精神を育成し、「神と人とに仁むる」という建学の精神の具現化に大きく寄与していく。

◇与那覇みどりさん(英1)
全国学生英語弁論大会2位入賞
毎日新聞社大阪本社で七月三日
開催された全国学生英語弁論大会で
(毎日新聞社主催)で与那覇みどり
さんが見事2位に入賞した。テー
マは「日本経済における仕事」。
与那覇さんは、六月に北九州市で
開かれた西部地区大会で優勝、同
地区代表として臨んだ。出場者の
ほとんどが学部学生の中での健闘
であった。

— 3 —

— 2 —

コミュニティ・サービス・プログラム
保育科助教授 神里博



四月から総合研究C（コミュニティ・サービス・プログラム）が新たに開設され、三十六名の学生が本学の立地する西原町で社会福祉、教育の分野でフィールドワークとしてのボランティア活動を体験し、全員が単位を取得した。参加者は英語科三十名、保育科六名。学年別では一年次六名、二年次三名であった。

コミュニティ・サービス・プログラムは、地域の歴史、文化、産業、社会に関する基礎的知識を習得すると共に、ボランティア活動を通して、地域リーダーとして

の意識を養い、活力あるコミュニティづくりに寄与することを目的に開講された。このプログラムは本短大学長の働きかけで始められ、担当教員一名、地域の教育・福祉関係者が参加した。西原町の教育・福祉・ボランティアに関する講義と次の6つのプログラムを提供し、2回の報告会（中間、最終）を開催した。プログラム内容と参加人数は次の通りである。

（一）在宅老人（独居老人）に対するサービスプログラム（以下「SP」とする）（7人）西原町社会福祉協議会の給食サービス配達ボランティアとして、在宅の独居老人を訪問し、高齢者から話を聞きながら交流を深める。

（二）老人ホームでのSP（4人）老人ホーム「守礼の里」で入所者との話し合い、車椅子・食事等の介助を行い、高齢者との交流を図ると共に老人ホームへの理解を図る。

（三）福祉作業所でのSP（6人）心身障害者の「はばたき共同作業所」でさおり織り、さしこみ絵の作業の手伝いと利用者との交流を図る。（四）学童保育SP（10人）共働き

家庭、母子、父子家庭の学童の下校後の生活や遊びを指導員と一緒に開講された。このプログラムは、担当教員一名、地域の教育・福祉関係者が参加した。西原町の教育・福祉・ボランティアに関する講義と次の6つのプログラムを提供し、2回の報告会（中間、最終）を開催した。プログラム内容と参加人数は次の通りである。

（五）児童館でのSP（3人）地域センターとしての西原児童館で遊びを通して子どもと交流。

（六）不登校児のメンタルフレンドSP（6人）教育相談者の指導のもとで、学校に行けない、家に閉じこもりがちな子供たちの話し相手になり、一緒に遊んだり、友達づきあいをすることで閉ざした心を少しでも開くように援助。

以上6つのプログラムのもとで、学生たちは地域の福祉・教育分野のボランティア活動に参加し、教室では学ぶことの出来ない生きた学習を体験した。ほとんどの学生が後期の総合研究C（II）も登録し、現在も地域でのボランティア活動を継続している。

ボランティア活動を通して地域に学ぶというコミュニティ・サービス・プログラムは、本学、学生、受け入れ先とともに初めての経験で、戸惑いや試行錯誤をしながら互いに理解することによって、心から感謝を申し上げたい。



講演中の斎藤美津子先生

同時通訳者養成講座特別講演会要旨
『国際社会における同時通訳者の役割』 講師 斎藤美津子先生

同時通訳者はコミュニケーション・スペシャリストである。国際会議の最前線で活躍する人たちがお互いの理解を深めるために同時通訳者の働きは大事である。コミュニケーションは、必ず相手（異文化）を「理解」することから始まる。そのためには、言葉の意味（内容）をすばやく理解する能力とそれを相手に正確に伝えるための表現力が求められる。従って日英両語の同時通訳には、両語の高度の運用能力を養成することが必要である。同時通訳を学ぶ際は、次の三つのポイントを押さえておく。

①人間は不完全であり、通訳者も間違うことがある。

②知覚は一人ひとり違う。

③人間は努力することによって向上する。

さて、講座は地域へのサービスも兼ね、社会人へも開講されました。同時通訳は高度の日本語力・英語力が要求されますので、受講希望者は全員テストと面接を受けてもありました。その結果、社会

（米国大使、英国大使等のスピーチ
英語科長 山里 恵子

有意義だった同時通訳者
養成基礎講座

英語科長 山里 恵子

国際時代・社会のニードに応えたいと夏休みに初の試みとして同時通訳者養成基礎講座を開設しました。十日間、休日なしの集中講座で、担当してくださいました先生方も受講生も息つく間も無い程度の特訓に明け暮れました。講座のコーディネーターでいらっしゃるロス先生は日々ことに成長する受講生、特にカリスマを見て「ウエルストレッチトゥ」と評しました。それは英語能力、通訳者としての能力がよく引き伸ばされているという意味です。学生の図り知れない潜在的能力を適切に示す評価と思えます。

さて、講座は地域へのサービスも兼ね、社会人へも開講されました。同時通訳は高度の日本語力・英語力が要求されますので、受講希望者は全員テストと面接を受けてもありました。その結果、社会

人十四名、カリスマ十四名、計二十八名の質のよいクラスを一つ作ることが出来ました。

担当教授は、日本の同時通訳のパイオニアであり今なお活躍中の国際基督教大学名誉教授・明星大学教授の斎藤美津子先生をはじめ上智大学助教授の井上久美先生、若い同時通訳者として働く正在い森洋子先生、石田悦子先生の四名をお迎えすることができました。

先生方は数多くの経験を積まれていてお話し下さること総てに説得力があり受講生の心をしっかりと捕らえ、見事な授業を展開してくれました。十日間、休日なしの集中講座で、担当してくださいました先生方も受講生も息つく間も無い程度の特訓に明け暮れました。講座のコーディネーターでいらっしゃるロス先生は日々ことに成長する受講生、特にカリスマを見て「ウエルストレッチトゥ」と評しました。それは英語能力、通訳者としての能力がよく引き伸ばされているという意味です。学生の図り知れない潜在的能力を適切に示す評価と思えます。

さて、講座は地域へのサービスも兼ね、社会人へも開講されました。同時通訳は高度の日本語力・英語力が要求されますので、受講希望者は全員テストと面接を受けてもありました。その結果、社会

（スピーカー）を暗誦する程に練習してほしいというアドバイスもありました。また、通訳者が最も心掛けなければならないのは「スピーカーをよく理解すること」そして「彼がいちば言いたいことを相手に伝えること」「通訳者は言葉を右から左に譯するだけの機械人間ではなく、心と心を結ぶ役割を担う者である」と通訳（者）の真髄を教えてくださいました。

立派な先生方に恵まれての同時通訳者養成講座の波紋は大きくなり回の講座を促す声が聞かれます。社会人、学生の要望に応えられるよう善処したいと思います。

同時通訳者はコミュニケーション・スペシャリストである。国際会議の最前線で活躍する人たちがお互いの理解を深めるために同時通訳者の働きは大事である。コミュニケーションは、必ず相手（異文化）を「理解」することから始まる。そのためには、言葉の意味（内容）をすばやく理解する能力とそれを相手に正確に伝えるための表現力が求められる。従って日英両語の同時通訳には、両語の高度の運用能力を養成することが必要である。同時通訳を学ぶ際は、次の三つのポイントを押さえておく。

①人間は不完全であり、通訳者も間違うことがある。

②知覚は一人ひとり違う。

③人間は努力することによって向上する。

結論として、同時通訳は異文化を持つ人同士の「いい人間関係」を創るもので、そのための技術を学ぶ。

同時通訳は二十七年前は神業だった。今日では訓練によるのである。

海 外 研 修

期間1993年8月28日～9月26日

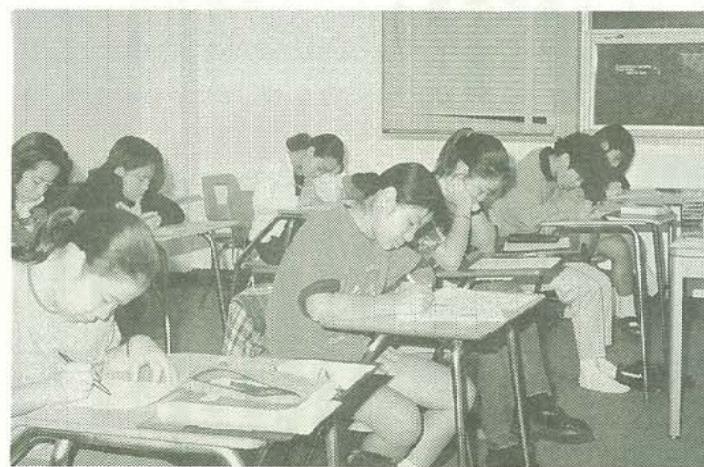
ミシガン州立大学(MSU)研修報告

異文化理解(英語科20名)
幼児教育研修(保育科15名)

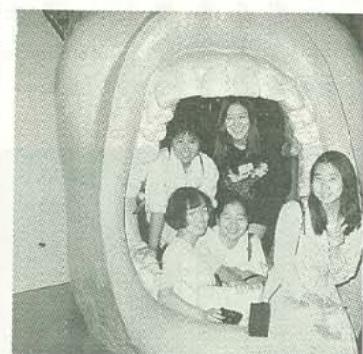


構内風景

私は今回のフィールドワークの他に二つの目的をもって臨みました。その目的とは、①ミシガン州立大学における身体障害者、特に視覚障害者をどのように大学が受け入れているか調べること。②同大学クリスチヤン学生の活動に参加することです。(大城秀樹・学生)



CDL(幼児発達研究所)で英語による講義を受ける保育科学生



Children's Museumで

◎本年度、卒業生が留学した大学
ノースウェスタン大学(心理学)
ホーリー・インスティテュート・
パシフィック・クリロア大学
(ハワイ、国際関係学)
ミシガン州立大学(経営学)
オブ・エデュケーション
(オーストラリア、英語、観光学)
フィリピン女子大学(社会福祉学)
同 (英語)

毎年三十名前後の在学生が米国・カナダ等の大学へ留学する。二年の前期を終了した後に一年留学し、帰国後二年の後期の科目を履修して終了するのが通例である。留学生は、卒業後アメリカの四年制大学へ編入する学生も増えてきた。特に、姉妹校であるノースウェスタン大学(アイオワ州)への編入が多く、これまでに八名の卒業生が三年次に編入している。

(教務部)

外国への留学生

保育者養成における異文化理解
—MSUでの実習を中心に—

保育科引率者 神山 美代子

近年、異文化圏の人々の交流が盛んになり、それに伴い保育施設にも多国籍児が在園することが多くみられるようになつた。

このような社会変化の状況から、日本の保育も国際的視野に立つて世界に羽ばたく保育者、隣人と共に生きる保育者が切実に求められている時代になつてきている。

そこで、本短大はここで保育実習という実践を通して異文化理解を試み、4週間の研修を実施することになった。研修の内容は、最初の2週間は英語教育で、あと2週間は保育実習である。この二つのプログラムをドッキングさせたところに大きな特徴がある。

その特徴とは、保育内容、保育方法、子どもを見る視点、保育を考える点、実習心得、園でよく歌われている歌など、保育の専門的内容を英語で学習する。そこで、これらの内容を消化する為に宿題

が山ほど出され、学生はいつも午前さま。それに、言葉の限界を背負いながらの異文化圏での実習。厳しい毎日が続く。この時やっとホームステイと研修の違いに気付く学生、研修を放棄したくなる学生などさまざまであった。しかし、互いに励まし合いながら頑張るうちは実習も楽しくなり、研修が終盤に近づく頃には「帰りたくない」の声もちらほらでてくる始末である。実習を完全に成し遂げた時の学生の穏やかな表情は、私の心に今まで鮮やかに残っている。

このような貴重な体験から、学生は夢と希望が広がり、将来に向けて積極的に羽ばたく姿勢がうかがわれるようになった。

今回は良くも悪くも日本に大きな影響を与えてきたアメリカで、異文化を経験することができたが、今後、発展途上国の国々に目を向けて、隣人と共に生きることを目指しての国際理解と平和教育の保母養成を考えたい。

最後に、この研修ができるようMSUと橋渡しをして下さったキリスト教短大の原学長、そして

はじめ多くのMSU及び本短大の関係者に心から感謝申し上げます。

米国、ミシガン州立大学(MSU)における研修の成果

英語科引率者 山里 恵子

去る九月、原学長の計いで米国大学のトップテンに入るMSUで、我沖縄キリスト教短期大学の学生三十五人が一ヶ月間研修をする機会を得ました。MSUの際立った特長は数多くの外国人学生が居るということです。そこには、他民族への偏見がなく、キリシタンが伸びびと彼等と、また、地元の学生達と語り合う機会を持てたことは予想外の大きな収穫でした。

英語科学生の研修は、英語研修と課外活動の二点において行われました。英語研修では語学一般としての国際理解と平和教育の保母業では八地方にまつわる作品を学びました。学生は宿題の量にため息をつきながらもスピードの速い授業によく追いついていました。

課外活動においてはMSUの学

生との交流、正規のクラスの聽講、観光、スポーツ観戦、ホームステイと盛沢山のものをこなしました。キリシタンは、はにかみながらもチャーチを無駄にすまいと前向きにMSUの学生達との交流を頻繁に持りました。正規のクラスの聽講ではインフォーマントとして活躍していました。ある数名の学生は、大學院の授業を三時間ぶつ通して聞き入り夕食を忘れるほどの熱を入れようで、引率者の考えを遙かに越える学習意欲・態度を見せてくれたものです。

この研修で学生は、自己再発見の機会を得、自分が知らないものに対する素直に質問をするという積極性を養うことが出来ました。またアメリカに行って勉強したい、世界に羽ばきたいなどと夢一杯の希望を述べてくれます。キリシタン卒業生が世界の人々のために働ける日がすぐそこにあるような気がします。

最後に、このような素晴らしい研修の機会を与えてくださったMSUの先生方に感謝いたします。

1992年度キャンパス・ニュース



左からブルトマン学長ご夫妻、原学長、ヴァンダヴェルフ教授



楽しい授業運びが好評のタカラロー教授（公開講座）

△沖縄キリスト教短期大学特別講演会
講師に河野重男先生を迎える
「高等教育の将来への展望」と題し特別講演会を開催した（七月）。講師にお茶の水女子大学前学長で臨時教育審議会委員・教育課程審議会委員等多くの要職を歴任された河野重男先生を迎えることができ、学内関係者だけでなく県内他大学や高等学校からも多くの方々が参加した。

十一月十三日、学生七名が出場し学内英語弁論大会が開かれた。一位に選ばれた伊佐かおり（英2）さんは賞状、トロフィーのほかアリソン特別賞（奨学金三万円）が贈られた。

△第十二回学内英語弁論大会
講師に河野重男先生を迎える
「高等教育の将来への展望」と題し特別講演会を開催した（七月）。講師にお茶の水女子大学前学長で臨時教育審議会委員・教育課程審議会委員等多くの要職を歴任され

た河野重男先生を迎えることができ、学内関係者だけでなく県内他大学や高等学校からも多くの方々が参加した。

△キリスト教学校教育同盟第36回
大学部会研究集会本短大で開催
キリスト教学校教育同盟第三十
六回大学部会研究集会が十一月十九日と二十日の両日沖縄で開催された。参加者七十五名、参加校数は四十三校で今大会の主題は「キリスト教大学の教育—われわれはどこに立つか」。第二日目は本短大が会場となり金城重明本短大教授・宗教部長が「沖縄キリスト教短期大学の歩みからの問いかげ」の発題講演を行った。活発な質疑、討議の後、参加校の先生方に本短大の施設を見ていただいた。

△第四回高校生英語弁論大会
高校生の英語コミュニケーション能力を高めることを目的として十二月十二日、第四回高校生英語弁論大会を開催（共催琉球放送株式会社）、十六校が参加した。入賞者は次のとおり。

一位 新里奈々（開邦高校二年）
「国際交流の本質そしてもう一つの見方」
二位 與那覇みどり（球陽高校三年）
「眞の相互理解を信じて」
三位 仲宗根幸代（コザ高校三年）
「高齢化社会に向けて」

△交換教授の招聘
招聘教授として米国の姉妹校Northwestern College もつDr. R. Takalo を招く（四月～七月）。教授はスペイン語、オーラル・イングリッシュ、米国文学等の科目を講義したほか、中・高校英語教諭（卒業生）のリカレント教育の一環として特別講演、本短大英語科の専任・非常勤教員を対象とする英語教授法に関するワークショッピを行った。また、公開講座では「上級英会話」を担当した。

△Northwestern College 学長来學
J.ブルトマン学長ご夫妻、ヴァンダヴェルフ教授（同大学チャップレーン）が来学した。ブルトマン学長は「宝の管理者：キリスト教主義リベラルアーツカレッジの使命」と題して特別講演を、また、ヴァンダヴェルフ教授は月曜礼拝を担当した。

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘

△Northwestern College 学長来學

△キリスト教学校教育同盟第36回 大学部会研究集会本短大で開催

△第四回高校生英語弁論大会

△交換教授の招聘</h3

平二山仲長潮二中喜翁上石二宮松二他新二玉大二知二山松平古赤十九期生十
十七里原浜平二十六城屋長地垣五城堂四期英生淳真生玲(二)惠惠勉則明
良一期初生なゆ早小美隆貴道生春洋生同一同英生淳真生玲(二)惠惠勉則明
美(一)人おみり苗子(四人)子子子子五人美子(二人)子子子子子枝子子子
十又仲城崎四期吉真間浜十五期生(二人)子子子子子子子子子子子子子子

照照玉玉砂砂城潮久國久嘉翁太大石安赤赤三山森德知多島島佐親浦石安三与外備比石石石伊新二友天二十八期
場手和和和富富十那差差十九利久八期
屋屋城城川川田平川仲高効長田城川里嶺嶺一期
教こ淳教明順亞朝聰かさ明み和美笑生い梨園が祥栄幸国敦直久由直（紀弘章佳あ美京好園生真真生（二人
す矢矢おゆど美す加お美妻十三美妻十三人子子子子美乃子子子子美乃子子子子美乃子子子子理（九人
泉子え子子美子子泉野子恵りり美り美夏子へ三美み子恵る子子子子子美乃子子子子美乃子子子子理（九人

沖縄キリスト教短期大学
特別指定寄付金 寄付者芳名 (1989年10月～1993年3月)

日頃、沖縄キリスト教短期大学は皆様方からご支援と、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。志をいただき誠に感謝にたえません。

本短大は、校舎移転のための一坪献金運動はじめ施設設備の充実、奨学金のための募金運動を展開して参りました。各界の多くの方々が運動の趣旨にご賛同くださり多大なるご寄付を賜りまして衷心より厚く御礼申し上げます。また、常に本短大の教育に深い关心をお寄せになり、国際交流、身体に障害を持つ学生の援助や、その他の教育活動、事業計画のためにも特別のご若す奮励して経営基盤の確立と教育・研究の充実に邁進いたす決意でございます。今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〔一般個人▽〕伊栄大喜嘉翁小川喜比敷長浜城数様西屋橋川全国保育の歌聲祭英彦善明澄修篤俊嗣寛弘義維正信子善一久勇雄新助和田田中座間嶺川敷垣赤安新伊翁石石石

高高平城島潮座崎古幸幸國國金金喜喜川神我親翁奧大大大内上上伊稻
良山良田袋平波濱謝地地仲仲城城川川平谷霸祖長間城城城原原禮嶺
武朝榮幸寃鐵政盛晃英清ス秀宏清嘉盛精真信邑勇朝宜喜芳改善立盛
公光賢達雅智男子達正行市子立雄賢安雄信次郎篤政史一昭順郎信曉德雄一

五大四友座上三島二外西砂一大一米与吉與山山山安屋森宮宮宮松町前福比仲名仲友瀧知知知玉玉武
朝期間期期期卒那古嘉宗久
生城生寄味地生袋生間原川城生業村城川田内田内城富宜根平里城城村田田村嘉本原根寄地念念名城城城富
（一）宣宗武（三喜）（久文敏鶴四人）清盛昌昇盛宗憲宜和良美太忠幸と朝正盛政安盛隆政英榮定利 李良
（太人）人代人アフアフ人
（太人）人代人アフアフ人
（太人）人代人アフアフ人
（太人）人代人アフアフ人

上豊富當渡渡渡田玉澤田平城新新下下瀬佐崎崎大大大翁小西西根仲仲仲永村官宮宮宮銘銘松松
久慶久間里川間山次地口仲城祇島 間里門里里地底間原演濱城城長渡里平 銘根村道井田里良城城城刈刈永川
綾恵は一育美由り か由和律綾香美裕多康敏か香智靖優直美陽頬辰康知美ま千美リ藤貴孝須玲リ志あ亜しす
るお紀翼お恵和な奈子子み美子香美か葉り子美子乃織佐子子子り織美子子子子子美代美香み秋香サ枝子子子子砂保み君か

10,000,000
9,000,000
8,000,000
7,000,000
6,000,000
5,000,000
4,000,000
3,000,000
2,000,000
1,000,000
0

饒屋山屋友友豊徳渡玉砂志新島島瀬佐佐大名本宮牧國久金金喜嘉川川嘉池平比辺安座與山屋上
平見嘉良久久保久士次那那比宜間
名宜川宜寄利山松敷城築川堂城袋長本川田城村平志吉吉田城城川陽満上数間安嘉名富波霸那田
陽直聰修修広か草和郷智勝り智須あ由陽一綾ま卓み小美和美典美史政あ淳校佐紀奈さ美貴牧清美理育青
子美美江子美子子子美江こ子子み江子枝子み子き百合子江佳子香美広香香子子子子美香歌校佳子

仲仲中仲仲長三松真町桑小大萩上喜国幸金金喜喜川川羽具儀知新安中三山川塩柴中仲宮喜金比大名下並
茂喜志田江嶺城演堂原武吉喜城城納里満根地堅武名垣富島四田平川田村城武城嘉城真地里
村村村村松嶺藏良志田江嶺城演堂原武吉喜城城納里満根地堅武名垣富島四田平川田村城武城嘉城真地里
期

Period	Revenue	Profit	Margin
Q1	\$100,000	\$20,000	20%
Q2	\$120,000	\$24,000	20%
Q3	\$140,000	\$28,000	20%
Q4	\$160,000	\$32,000	20%
Total	\$520,000	\$84,000	20%

K	E
10 ^{0.0}	10 ^{-1.0}
10 ^{0.2}	10 ^{-2.0}
10 ^{0.4}	10 ^{-3.0}
10 ^{0.6}	10 ^{-4.0}
10 ^{0.8}	10 ^{-5.0}
10 ^{1.0}	10 ^{-6.0}
10 ^{1.2}	10 ^{-7.0}
10 ^{1.4}	10 ^{-8.0}
10 ^{1.6}	10 ^{-9.0}
10 ^{1.8}	10 ^{-10.0}

◎施設設備拡充
【個人▼】
和川玉 Frank S. Kubo
川翁天 Ruth Adamiya
平間敷長新康弘
田西城新之助裕英
普伊翁天新之助裕英
海外のウチナーンチ会
勵まやか会
一直植殖
博國和良
千林常秀
千代子平信淳
良正林常秀
春勝時隆真清希朝
博安
花良間地城川嘉原嶺念嘉城里村鎌屋屋吉原川嶺
【父母】
垣宮安下玉新比桃石知比大仲仲洲照照又野新赤
座
【父母】

十月（一月）個人生計費

新宮池洲比島豈喜照饒那宮伊宮福大金平植安安山玉松大砂豈大大
屋平谷那
垣城原鑑定袋里納壓名根城佐城原城城良田里壓本島川平城城
義銀惠敏友政正秀一義長兼吉一雄全光良仁陸安達寬良龜秀
圭清英俊達桂幸曉推玄元夫工發伸成義三朗妻子松敏推里當誠吉一
沖伊前古末平良平德
敷泊謝吉平德
正吉善健
委教衍次三

七五
六二八三

島金銘宮與高上末砂上豊大平宮玉福内東仲仲謝安比伊伊渡豊比石島平當宮幸古金幸伊久新山具池照平久國
那江恩名見是忘場袋城丸判嶺間吉川洲里嶺田城榮元間納村本花里嘉波禮喜山嘉垣袋良真良地堅城喜名高里城堅原屋良川吉
龜森忠長友武秀有光吉初裕安祐和清宗興教庸武義林新由唯廣誠良正將芽貞安興仁常真
隆一英信學仁子據敏夫德時季吉乃子雄好繁興則始初又樹光功少士懷弘子明據昭重慶齊大弘安西士之洋

Year	Population (in thousands)
2000	10,000
2001	10,000
2002	10,000
2003	10,000
2004	10,000
2005	10,000
2006	10,000
2007	10,000
2008	10,000
2009	10,000
2010	10,000
2011	10,000
2012	10,000
2013	10,000
2014	10,000
2015	10,000
2016	10,000
2017	10,000
2018	10,000
2019	10,000
2020	10,000
2021	10,000
2022	10,000
2023	10,000
2024	10,000
2025	10,000
2026	10,000
2027	10,000
2028	10,000
2029	10,000
2030	10,000
2031	10,000
2032	10,000
2033	10,000
2034	10,000
2035	10,000
2036	10,000
2037	10,000
2038	10,000
2039	10,000
2040	10,000
2041	10,000
2042	10,000
2043	10,000
2044	10,000
2045	10,000
2046	10,000
2047	10,000
2048	10,000
2049	10,000
2050	10,000
2051	10,000
2052	10,000
2053	10,000
2054	10,000
2055	10,000
2056	10,000
2057	10,000
2058	10,000
2059	10,000
2060	10,000
2061	10,000
2062	10,000
2063	10,000
2064	10,000
2065	10,000
2066	10,000
2067	10,000
2068	10,000
2069	10,000
2070	10,000
2071	10,000
2072	10,000
2073	10,000
2074	10,000
2075	10,000
2076	10,000
2077	10,000
2078	10,000
2079	10,000
2080	10,000
2081	10,000
2082	10,000
2083	10,000
2084	10,000
2085	10,000
2086	10,000
2087	10,000
2088	10,000
2089	10,000
2090	10,000
2091	10,000
2092	10,000
2093	10,000
2094	10,000
2095	10,000
2096	10,000
2097	10,000
2098	10,000
2099	10,000
20100	10,000

2010-2011 学年第一学期期中考试高二数学试卷

団体
計体

指定寄付

西我喜大柳比大比山
友
銘謝名城澤嘉城嘉城
純和静宜千健國朝
惠次郎東郎健
子子武子郎東郎健

本短大同盟会	神山中与金 里惠ヨミサ
読谷教会婦人	玉城事務 〔宗教關係〕
首里教	日本基督教 西中國教區社 西原教
日基督教團沖縄教會	日本基督教 宣教協力 日米
糸満教會、 ゴスペル幼	〔金社〕 〔金社〕 〔金社〕 〔金社〕
本短大同盟會	〔金社〕



歐文用音声読書機（視覚障害者のための点訳機）を操作する
英語科1年山城あい子さん。当機器は、オリオンピール株式会社と
日本IBMの援助により購入。

日本アイ・ビー・エム
本短大同窓会
文教楽器現
本短大後援会
本短大同窓会
◎学生会援助金
往復
◎移転一周年記念援
交際
本短大後援会
大同窓会
個団指定期付
一九九一年四月

指定寄付
一九九二年

平屋當宮新 田豊花与翁屋大下徳西仲松奥山仲川比與
安宜真里川 見宗古中山城儀長我城田里原道永濱里根平嘉田
恒同嗣一康 康勝一文光秀仁清政洋正 真邦永朝定
榮清吉成吉 保二雄夫助子光健儀子勝進政夫一亨吉徵

For example, the following table shows the results of a simulation of a population of 100,000 individuals over 100 time steps. The population starts at 100,000 individuals and decreases to approximately 85,000 individuals by the end of the simulation.

稻与泉和浅佐新田仲仲大仲桜吳大田龟比吉名北市東当池渡小仲仲仲春名青グ小山様金城中小武清松清調
宇々宗宗宗井真尾尾代リ福儀慶香木垣仲根根城根進屋城添島稟村城島川真宮利浜次次里タ城木一林中田城間村山林水波水
シみ朝敏久邦美重順貞ゆ有満禱恵力潔初敏恭源絹惠ハツ政ン敬達保祥清喜邦閑佐正
智智智智神和ル墨つ吉雄子子松弘子子紀子雄子又子子之二学是仰吉子子ナツ堅賢三郎潤子介義昭成保安子子政

津和野	カトリック教会
姫路	教会
銀座	教会
堺間	ナザレン教会
神愛	バプテスマ教会
那覇	バプテスマ教会
宮里	キリストの教会
東中野	教会
西神戸	教会
甘樂	教会
首里聖アンドレ教会	
徳山	教会
轟岐伝道所	
沖縄基督教宣教委員会	
平良キリストの教会	
関西学院大学父母	
ための聖書を学ぶ	
首里	教会
那覇小リネス教会	
北谷ナザレン教会	
住道一粒教会	
大阪東十三教会	
下谷	教会
京都	教会
仙台北	教会
首里バプテスマ教会	
碑文谷教会	
森めぐみ教会	
春日部教会	
神戸朝鮮会	
戸教	
三軒茶屋	教
深松	地教
山	教
八越	教
雲谷	教
隣人キリスト教会	
関西キリスト教	
音楽講習会	
沖縄新生教会	
経堂	
緑岡教会	
奥沢	
読谷	
教會	
那覇ナザレン教会	

パイプ・オルガン献金内訳

(1989年11月～1993年3月)

单位：吋

		合	計
個人	教 会 信 徒	件数	金 額
	一 般	10	147,800
	卒 業 生	163	1,330,911
	学 内 関 係	41	637,000
	小 計	303	3,068,711
	教会及び関連団体	63	1,556,325
団体	学 校 他	16	614,000
	小 計	79	2,170,325
	合 計	382	5,239,036

那覇中央教会
日本キリスト教改革派
那覇教会
The Women's
Conference

第三回
実行委員会
第一回キリスト教大会
駅伝大会

【学内関係】
第二十七回キリ短祭
実行委員会 五、000
駅伝大会 五、000
保育科 I - A 一〇、000

「沖縄キリスト教短期大学のチャペルにパイプ・オルガンを贈る運動」
寄付者芳名（1989年11月～1993年3月）

「沖縄キリスト教短期大学のチャペルにパイプ・オルガンを贈る運動」にご協力くださいまして心より感謝申し上げます。

パイプ・オルガンで奏でられる音楽を通してキリスト信仰の生みだした偉大な芸術文化に触れる機会が与えられる日を待ち望みつつ、また生涯学習の場として一般に開放され、教会音楽に出会う機会が与えられることを祈りつつこの運動を今後も積極的に進めていきたいと思います。沖縄にある全ての教会への呼びかけで始め

られました運動の輪が、全国の教会、卒業生へと広がりつつあります。目標には程遠い現状ではありますが是非実現したいと願っています。

今後とも、ご指導、ご支援くださいますようお願いいたします。

「沖縄キリスト教短期大学のチャペルに
パイプ・オルガンを贈る運動」実行委員会
実行委員長 伊波 盛次郎

パイプオルガン献金報告

—COLLEGE LIFE—

We, the People of OCJC



人事（事務職員） 採用一九九三年七月一日付
座波みゆき 事務局総務課（役員秘書）

◎沖縄キリスト教学院役員

任期満了に伴う役員交替がありました。理事及び監事は次の通り。

(任期1993年10月1日～1996年9月30日)

理事長	比嘉國郎	豊見城中央病院長
副理事長	金城誠昭	糸満教会牧師。ゴスペル幼稚園長
理事	原瀬喜美	本学学長
	福澤輝	本学教授・福澤医院長
	潘信一郎	本学同窓会長・豊見城神の教会牧師
	高里勝介	沖縄教区總會議長・西原教会牧師
	名嘉隆一	沖縄市教育委員長・コザ教会牧師
	裏嶺朝健	本学後援会長
	城嵩攻一郎	オリオンビル株式会社専務
	山城トヨ子	糸嶺商會社長
	知念洋二	リヨーセロ社長
監事	瀬翁良祐	新報社企画局長
翁長知念洋二	弘利	本学公認会計士事務所(公認会計士)
安次富	良楨	安次富法律事務所(弁護士)
	浩	翁長公認会計士事務所(公認会計士)

行事催物 (十二月～一月)

ご父母、教会、地域、卒業生、その他学内関係者以外の皆様のご参加を歓迎致します。

- ◇大井學テノール・リサイタル
- (十二月五日(日) 午後六時開演 会場・チャペル)
- （十二月十一日(土) 午後二時 会場・チャペル）
- （四五年制大学設置準備資金造成のためのチャリティーコンサート主催）
- （第五回高校生英語弁論大会 会場・浦添市民会館）

- ◇クリスマス礼拝・祝会 (十二月十八日(土) 午後五時 会場・チャペル)
- ◇沖縄を舞い、歌う(仮)
琉球舞踊(新亘典子琉球研究所)
- 音楽 比嘉悦子
- (一月二十二日(土) 午後六時半 開演 会場・浦添市民会館)
- （四年制大学設置準備資金造成のためのチャリティーコンサート主催）

会場・チャペル